

## 當面の時局闘争方針に 關する件

### 提案 大阪聯合會執行委員會

#### 提案理由

從來、我々は運動の各部分に於いて必要なる問題を抽出して之を數個の議案となして大會に上提するを例とした。然しながら斯る方法は幾多の缺陷をもつものとして批判されるに至つた。第一に斯る方法は我々の運動をして有機的な全體性を失はしめる、第二に運動の小部分の斷面を拾ふに止まつて幾多の重要な問題を取落してしまふ、第三には問題の相關々係をみるに不便であり、時には見失つてしまふ、第四には議案相互の間に錯誤重複矛盾を生む危険性が大である、第五には實際運動として諸問題の輕重先後を論ずる機軸を失はしめる等々、要するに斯る方法は運動を一ケの流體として把握しないところに根本的な缺陷がある。

労働組合運動は決して個々バラ／＼なる運動或はその雜然たる集積ではない。それは有機的に關連せる諸種の部分をもつ極めて複雑なる一ケの流體でなければならぬ。而も

それは限られたる時間空間に於ける具體的現實的な運動である。争議方針は組織或は財政との關連に於いて立てられなければならないし、戦線統一方針亦現在諸運動の方向或は諸勢力の均衡の上に進めらるべきであつて、これらの關連を無視した抽象的な統一論は何等現實の運動として價値を認め得ないこと明らかである。

問題はその相互關係に於いて把握されることによつてはじめて具體性をもつことが出来る、抽象化されたる理論的研究はこれを研究室に委ねなければならぬ。具體的な方針（政策）こそ我々のものであり、大會はその議場でなければならぬ。

「當面の時局闘争方針」は運動をかゝるものとしての把握にヨリ便利でありヨリ効果的なものとして樹てられた総合的な議案である。

本議案に於いて我々は全體運動の全面を綜合した管であるが、適宜上これを運動の直接的な對象によつて二章五節に配置することとした。

即ち我々の運動を取上げてこれを二つの部分から見るものが出来るであらう。一つは政治勢力と結合資本に對する闘争の部分であり、他は自らの陣營の整備に關する部分である。二個の章はかかる立場から配置された。

更に我々は闘争部分に於いて闘争の直接對象によつてこれを二つの面に配置することが出来るであらう、即ち直接資本家を對象とするものと政府を對象とするものと二面である。前者に相當するものとして「對資本闘争方針」後者に相當するものとして「立法闘争方針」が取上げられた。

次に我々は運動の組織部分とその對象によつてこれを三つの面に配置することが出来るであらう。即ち全勞大聯合會自身を對象とするものと、組合運動全體を對象とするもの及び黨を對象とするものである、この第一に相當するものとして我々は「組織整備充實方針」を、第二に相當するものとして「戦線統一方針」を、第三に相當するものとして「政治方針」を取上げたのである。

本提案上の意圖は大略右の如きものであるが、尙共同制作上の不備その他のために意圖を完全に實現し得なかつた恨がないではない。願くば我々の善良なる意圖を了解せられて、この缺陷を補足されむことを方針の審議に先立つて代議員諸君に訴ふる次第である。

### 政治闘争方針

#### 一、政治の基本的動向

獨占組織の資本主義は一切の經濟を統制せんとするとこ

ろの、國家資本主義の段階に入込んである。従つてブルジョア自由主義は揚棄せられ、一切の政治的自由は強權獨裁の蹂躪するところとなり、國家間の對立は必然的に激化する。

吾國現今のインフレーション政策は、内には、無産階級の生活を犠牲に供することにより、外にはこの犠牲を土臺として市場、×××の收奪のために行はれ、此れに反對するところの一切の勢力に對しては徹底的に彈壓すると共に非常時を名とする愛國主義の宣傳によつて民衆の困窮より生ずる反資本主義意識を麻痺せしめんとする。

#### 二、勢力の配備と其の政治及び吾等の要求

五・一五事件を中心として生じた金融資本家反對としてのファシズム勢力は、衰退の一途をたどつてゐる、このことは資本家勢力の挽回を示すものであり、このことは資本の強權獨裁の企がより以上に急速に益々強めらるゝものである。

此の強權獨裁をなさんとするところのブルジョア政治勢力の中心は金融資本家にある。彼等は反金融資本家的なファシズムの動向に對し僅かなる妥協と退却により、一方自己の資本による勢力によつて屈服せしめ、インフレーション